

# 第22号

1991年10月20日発行  
 社会福祉法人 友愛会  
 大島保育所  
 大島福祉学園  
 友愛園  
 南川福祉学園  
 題字 理事長 角野元保

# 海清

10月27日(日)は友愛会文化祭へ



秋のバス旅行は風車村へ(大島福祉学園)

うちのおかあちゃん

ちいせえとき よう仕ごと

おしえてもうた

田うえやはたけうち……

いろいろようけのこと

うちを大きくしてくれた

ええ人や

まだまん

おしえてほしいことある

おやこうこうせなあかん

長いきしてほしい

浅妻 幸子

(大島福祉学園)



# 第9回 友愛会文化祭

多彩なステージ届けます

- ★日時 10月27日(日)  
午前9時30分～午後4時
- ★会場 大飯町総合市民センター
- ★プログラム

- 石川澄男とそのグループ  
ハーモニカ演奏
- 南川福祉学園  
マスゲーム「ほくらのセディー」  
「夢を信じて」  
ハーモニカ演奏「たき火」
- 大島保育所  
劇 「おおきなかぶ」  
お遊戯「アンパンマンたいそう」
- 友愛園  
合唱「ふるさと」「もみじ」など
- 大島福祉学園  
カラオケミュージカル  
「こぶとりじいさん」  
歌と寸劇 「農耕班の四季」
- 大飯中学校  
ブラスバンド演奏

## 今回のみどころ

友愛会文化祭も今回で9回目を迎えることになりました。今年も各施設のステージ、作品の展示、即売と、日頃の練習や活動ぶりを発表します。

ゲストに以前にも出演していた、石川澄男さんら数名を迎

え、ハーモニカの演奏を披露していただきます。

また、地元から大飯中学校ブラスバンド部約20名により「センチユーリア」「グリンスリーブス」「大きな古時計」など拍力ある演奏を聞かせていただくことになっています。

幕間には、つばさの会によるゲームなどもあります。

## ワンポイント じょうほう

### 南川福祉学園

今年の舞台発表は、踊り・ハーモニカ演奏・合唱をします。

踊りでは学令児グループによる「ほくらのセディー」と学卒児グループによる「夢を信じて」の2曲をかわいく、生き生きとした振り付けで上演します。新しくハーモニカ演奏も取り入れ皆んな文化祭に向けて頑張っています。

### 大島保育所

今年は、3才児・4才児・5才児とがークラスのため、年齢差を生かし、共同でお遊戯「アンパンマンたいそう」と劇「おおきなかぶ」を発表します。リズムカルに愉快地に演じたいと思います。

自由で、伸び伸びとした子どもたちの姿を見てください。

### 友愛会

昨年までは、カラオケを長くやってきましたが、今年は全員で合唱をしようということになりました。曲名は、「ふるさと」「もみじ」「里の秋」「月の砂漠」「四季の風さん」です。とにかく入居者の息の合ったハーモニーをお聞かせしようと思気込んでいます。どうぞご期待ください。

### 大島福祉学園

今年は二つの出し物を予定しています。

①こぶとりじいさん……この昔話をちょっぴりアレンジ、劇とカラオケで愉快地に演じます。

②農耕班の四季……思い出深い歌と寸劇をまじえて、私たちなりの季節を描きます。

ご期待ください。

# 文化祭に 期待するもの

友愛会後援会会長

木橋正昭さん

みのりの秋をむかえ私達のふるさとの自然は、恵みをいっぱいみのらせて、お米や栗も柿も大根もと、いろいろとたくさんのお物を私達のくらしの中へと運び、この味合いが、人々に喜び、時には感動を与える、今日この頃です。

私達の友愛会の活動も、この一年間それぞれの園生活でみなさんと力を合わせて頑張ってきました。そして数々の思い出や作品をまとめて発表する文化祭がやって来たわけです。

今年はどんな劇や歌や踊りが、また、どんな作品が発表されるのかと、保護者や地域のみなさんが楽しみに待っているのです。大勢の人に見に来ていただいて、みなさんと地域の人々とのふれあいの機会となるのです。みなさんが舞台いっぱい、一生懸命に発表される姿が、見る人に感動を与えます。そして園生活への理解が深まり、私達友愛会の仲間が増え、発展、充実、強化が期待されるころであります。

今年の文化祭もみのり豊かな祭典でありますよう、みなさんのご健闘を祈念してやみません。

主婦

伊藤民江さん

私が初めて文化祭を見に行きましたのは、4年前の事です。会場につめかけた皆さんが、熱心に舞台に目をそそいでいました。私の隣りで学園の保護者の方でしょうか、子供の舞台にハラハラする心を、必死でおさえているお母さんの姿が深く心に残っています。

4年前私は福祉にそれほど関心がなく、障害を持った人達が何をされているのかさえ知りませんでした。この発表を見て、一生懸命取り組む人達の感動を覚えました。

福井県とはかけはなれたところに住んでいる私ですが、ぜひもう一度、文化祭を見に行きたいです。

すてきな舞台を見せてください。

大島保育所保護者

藤原よし子さん

友愛会文化祭に我が子が参加できるようになって以来何回目かにな

りますが、色々な舞台発表等を見て感動させられることも数々ありました。常日頃から、自分にだって福祉に関心はあるし、それなりの行動もしたいと思っているのですが、気持ちだけが行ったり来たりですんでしまいがちでした。たぶんそういう人も他にたくさんいるのではありませんか？そういう勇気のない人たちにも足がかりとなるよう園児たちに加えて、一般の人の参加、協力も募ってみてはと思います。

作品展示・即売など目だつものに足が行きがちですが、見るだけでなく参加してもらおうような友愛会文化祭を望みます。

嶺南養護学校PTA会長

塚本保子さん

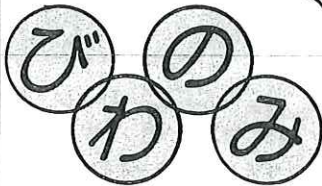
年々盛んになる文化祭を、一人の保護者として大変うれしく思っています。子どもたちの一生懸命作った作品を見ると、とても粗末に扱うことはできませんし、長い間かかって覚えた歌や踊りには、手が痛いのも忘れて拍手してやりたいものです。先生方の努力には頭の下がる思いで見えています。

しかし、気になる事があります。毎年見に来て下さる人が同じであるように思えます。福祉が大切な事が解ってはいても、一步踏みこめないのではないのでしょうか。少しでも多くの方々に見ていただきたい、理解までいなくても、子どもたちが居る事を知っていただき、地域の子どもとして受け入れてほしいと思います。

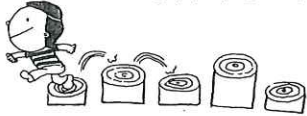
文化祭は、地域交流の一手段としては成功していますが、もっともっとみんなが楽しめる場として喜んで参加できるものになるといいなと思います。



●昨年の舞台（北海盆歌）



大島保育所



## 大きないも見つけた… 合同いも掘り大会

9月20日、学園の人達に招かれ  
さつまいも掘りに参加しました。

畑につくと、さっそくいものつ  
るを切ってもらい、さあ、いも掘  
りの始まりです。子どもたちは、  
目の色を変え、思い思いに掘って  
いきます。最初のうちは、なかな  
かいもを見つけることができな  
かった子どもたちも、学園の人達に  
いものありそうな場所を教えてもら  
い、一緒に掘ってみると「やったあ」  
大きないもが出てきました。次々と  
土の中から顔を出すいもを見て「引  
っぱれぐい」と頑張る子ども  
たち。一輪車に積み上げられる  
いもを見て大満足でした。



## 自我の芽生える2才児 友達・遊び通じ発達!!

「おさんぽいこう」「バツおるかなあ」と散歩が大好きな椿組の子どもたち。2才児10名の元気一杯のクラスです。

ちょうどこの時期は2才児の代名詞とも言われるほど「自己主張」の著しい時期です。自我が芽生え、自己主張を繰り返し、いろいろな感情に揺り動かされる経験を経て、初めて自分の感情をコントロールする力がつきます。言葉も豊富になるに従い、自分の意志の伝え方も身につけていきます。また、少しずつ友達存在を意識の中に入れてながら、つき合えるようになっていきます。

遊びの面ではごっこ遊びが大好きです。それはある事をイメージ

し、それを友達と共有する事ができるようになるからです。また、戸外では自由に歩いたり走ったりできるようになった力を駆使して、より探索活動が活発になります。

でもまだまだ甘えたい時期であり、十分な受容が大切だと思いま



## ステーション◎若狭高浜駅周辺

若狭高浜駅のある高浜町は、福井県の西端に位置しています。この町のイメージは、やはり「海」でしょうか。実際にいろいろな場面で人々の暮らしと深く結びついているようです。

新鮮な海の幸を求める漁船も多く、漁港は大漁に賑わいます。船の上をカモメが舞う、なんとどのかな風景でしょうか。

町が最も活気づくのは夏、この地方随一の海水浴場が海岸線に長く8キロ余り続きます。そして約一ヶ月、京阪神や中京方面からの浴客で賑わいます。

そうした町のほぼ中央、東西の海岸線の要の位置に憩いの場、城山公園があります。

隣町の私たちの園からも年に数回訪れ、すてきな眺めを楽しんだり、芝生にねころがったり、くつろぎます。

(小浜線をたどったステーションは、今回でおしまいです。)



# 海とぼくらと

精神薄弱者  
更生施設 大島福祉学園

## 学園祭を終えて ボランティアに感謝

去る9月8日(日)に第9回学園祭を「ふれあいませんか、わたしたちと」というテーマで行いました。学園祭は、地域の人たちとの交流、障害者への理解を求める学園の中でも大切な行事の一つです。

学園祭を開催するには、たくさんの方々の方々の強力な援助が必要です。大島漁村婦人部、青年部をはじめ、大飯町、高浜町、小浜市、上中町、三方町の各ボランティア団体(16団体)、約110名の方々の力添えで実施され、盛大に終えるこ

とができました。他にも各方面から設営に必要な器材などをお借りし協力していただいています。

当日は、各コーナーにボランティアの方々についていただき、それぞれに園生さんとふれあいが終始なごやかに、また親切にしてください、その姿を見て、私は感謝の気持ちでいっぱいになりました。ボランティアの方々の中には、園生さんと顔なじみになられた方も多くおられ、園生さんも年に一度そういった方々とめぐり合えるこの日を心待ちにしています。



私たちはややもするとボランティアのみなさんの協力を得られるという甘えの気持ちが大きくなります。

ボランティアの方が一日を振り返り「あ～疲れた、もう行くの嫌や」と思われていないだろうか、負担になり、貴重な一日を無駄にしたと思われていないだろうかと心配します。園生さんとのふれあいを通して有意義で余裕のある一日であってほしいと願います。

ボランティアを受け入れる側として、反省し、今後の課題として取り組んでいきたいと思ひます。

(実行委員 村松寛繁)

## 私の療育日誌

### 第4回 ぼたん

8月20日 晴之さん、綾男さん、三方町の梨園にJRを利用して出かける。汽車の中では、二人とも外の景色を眺め、微笑んでいる。

梨もおなかいっぱい食べて満足気。

8月27日 山口さん、小浜市の若狭和紙の家へ、体験学習として和紙すきに挑戦。「上手にできた」と帰るとすぐ見せてくれる。

9月2日 最近少し苛立ち気味の正一さん、お母さんからこの間出した手紙の返事が届く。内容を知らせると表情も明るくなり、何回も読み返し大事にしまっていた。

9月7日 ケガ防止のためにフェイスガードを付けている西さんは、週2回廊下に掃除機をかける。「ぼくが学園でできることは、やり続ける」と汗をふきながらの力強いことばである。

9月8日 学園祭り。西さん、晴之さん、綾男さんは一日お母さんと過ごし楽しそう。山口さんは中西さん(日赤奉仕団)を見つけ、親しげに語らい笑顔いっぱい。

9月10日 山口さん、正一さん、県の心身障害者スポーツ大会に出場。園の代表として活躍する。

9月11日 胸部レントゲン撮影。5人とも、技師の指示に従って無事終える。西さん「今日は簡単にできました」と報告してくれる。

(ぼたん担当 坂本孝司)



# くるまです少し前進!

身体障害者療護施設  
……友愛園

## 友愛園あれこれpart 21

### サークル活動

各種クラブ活動とは別に、サークル活動があります。主に年齢を基準としたグループからできています。

男会は20才台～30才台の方たちで、音楽活動をやっています。地域の方と協力して今まで何回かコンサートを開いてきました。自作の詩に曲をつけてもらい唄うわけですが、なかなか感動的です。このサークルは大きな舞台よりも小さなところで、家族的なコンサートをするのが好きなのです。

次に中の会があります。40才台の男女15名程のサークルです。主

に園内で会食をするのを楽しみにしています。夢としては、一度園外に出てみたいということも常々言っていますが、なかなか実行できないのが残念です。

最後にシルバーサークルがあり60才以上の男女です。あまり活発な活動よりものんびりと近くのお寺参りをしたり、園内で精進料理的なものを取って雑談をしながら親睦を深めています。最近は活動していませんが、そろそろ秋の紅葉でも見に行く計画などあるかもしれません。

### 一泊旅行 瀬戸大橋へ

去る9月11日～12日の日程で5名の入居者が、瀬戸大橋とレオマワールドへ出かけました。

少人数で出かける旅行は、友達同志のグループ旅行的雰囲気を持たせました。観光バスで6時間、世界一の橋を渡り、青い空と広い海の中にそびえ建つ大きな橋、この光景に感動しました。

途中与島でバスを降り、船に乗って海から橋を見上げました。橋と海その中に、目に映ったのが、いくつもの島々、それぞれの島には家が狭しと密集していました。

二日目はレオマワールドに行き、楽しいひとときをすごしました。



### 人の和を大切にする 池本さん だろうで〜

今回は京都府伊根町出身の池本春行さん(62才)を紹介します。

彼は交通事故で左半身マヒになり、毎日車椅子生活をしています。

彼の部屋は同年代の人が一緒に床を共にする4人部屋で、話がは

ずみます。しかし彼はおとなしい性格で話すよりも聞き手になることが多いようです。いつもの口ぐせは、「…だろうで〜」「〜が気悪うしやへんか」などです。

彼の楽しみは、食事と人との和をもつことと外出です。

彼は箸箱折に毎日精を出しています。同室のAさんと一緒に作業をしていく中で、負けなぞ、と

いう気力がこみあげてくるようです。今日も頑張っています。



# キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

## 大自然の中

## 青少年との交歓会

## のびのびと

さわやかな初夏を感じさせる5月26日(日)、若狭富士で親しまれる青葉山の麓にある青少年旅行村に於て、地元高浜町のジュニアリーダーズクラブとの交歓会が開かれました。

昭和63年に始まった、ジュニアリーダーズクラブとの交流も、今回で4度目を数えますが、年々親密さを増し、既に顔馴染みとなった子どもも何人か居て、終始和やかな会話や楽しそうな笑い声が聞かれました。内容は、「宝さがし」「ダンス」「ゲーム」「ショータイム」など盛りだくさんでしたが、どれをとっても小グループやペアを組む中で、学園児とジュニアリーダ

ーズクラブのメンバーが、思う存分かかわれるように工夫されており、より大きな友達の輪が広がったようでした。

最後に学園の代表者数名が、心暖まる交歓会を計画し、総ての準備を受け持ってくださいました。



リーダーズクラブの関係者の方々に対し、お礼の気持ちを込めて、「踊るポンポコリン」の踊りをプレゼントしました。会場全体の雰囲気が盛り上がっていたせいも、日頃おとなしい子や照れ屋の子も臆することなく、頬を紅色させて一生懸命踊っていました。

大自然の中、どこまでも青い海と深い緑に心を残しながらも、多勢のメンバーに見送られ、満たされた思いで帰路に着いた子どもたちでした。

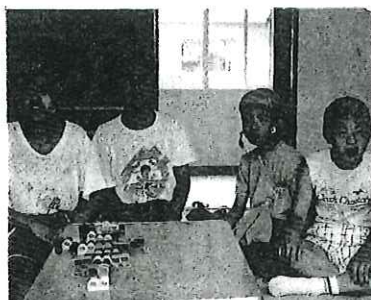
## ぼくらの名前を覚えて

## 6号室

皆さん、こんにちは!!短い夏も終り季節は秋になりましたが、いかがお過ごしですか!?

6号室のメンバーは、いつも元気いっぱい頑張っています。お部屋のリーダーは松尾俊明くん、カセットテープを聞くのが大好きです。そしてボール遊びがとっても大好きな池田雅一くん、大好きと言うだけあってスゴ〜上手なんですヨ。それから今年の夏で、う〜んと大きくなった常田定史くん。そして笑顔がとってもチャーミングな永田敏くん。みんな、それぞれ一生懸命、いろんなことに頑張っています。

彼らの顔と名前、覚えててくださいね。そして、どこかで出会った時は大きな声をかけてくださいネ。ヨロシク!



## 園生活の基礎 健康管理

学園生活の基本は何と言っても健康管理です。自分で思うように運動のできない重度グループにとっては、特に大切な事であり、管



理の仕方もむずかしくなります。

現在①視診②検温③乾布摩擦④湿布マッサージ⑤手足の手入れ⑥歩行一のプログラムを組んで毎日実行していますが、乾布摩擦は血行を良くし皮膚を鍛えるので、風邪予防に役立っていますし、湿布による腹部マッサージは便秘対策として効果を上げています。また、手足の手入れでは皮膚病を治したり清潔を保ったりしています。

一人一人の体質をしっかり見極め、それぞれにあったプログラムを組んで、より効果的な健康管理をしていきたいと思ひます。



(5月～8月分)

### ◆大島福祉学園

#### 👉奉仕・交流

高浜町ボランティアのみなさん  
 気山16ミリ映画を愛する会のみなさん  
 大島小学校のみなさん  
 大島漁村婦人部のみなさん  
 つばさの会のみなさん  
 大飯町赤十字奉仕団のみなさん  
 中尾雍子さん  
 荒木康衣さん  
 福祉協力校ワークキャンプのみなさん

#### 👉寄付

タオル・石けんなど  
 …高浜町ボランティアさん  
 衣類……高浜町青郷保育所さん  
 素めん…トウシヤさん  
 ケーキ…西谷征治さん

### ◆友愛園

#### 👉奉仕・交流

中名田地区青年団のみなさん  
 口名田地区青年団のみなさん  
 小浜市連合青年団のみなさん  
 買物ボランティアのみなさん  
 手話サークルもみじの会さん



#### ♥退職

次の方々が退職されました。ご苦勞さまでした。

炭吉広子さん (南川福祉学園)  
 5月31日付  
 小西一也さん (友愛園)  
 6月30日付

岩本エイさん  
 猿橋統流子さん  
 東野手芸店さん  
 中名田冠句会のみなさん  
 田茂谷地区老人会のみなさん  
 敦賀市民生委員のみなさん  
 福祉協力校ワークキャンプのみなさん  
 つくし座のみなさん  
 法泉寺住職田中さん  
 荒木久美子さん

#### 👉寄付

西瓜…西谷征治さん  
 酒……深谷区長森下正二さん  
 ジュース…大平考徳さん  
 ジュース…山岸さん  
 寄付金…京真弓親せきのみなさん  
 寄付金…大江重雄さん  
 寄付金…木崎政則さん  
 寄付金…小堂明男さん  
 寄付金…横井端生さん  
 寄付金…買物ボランティア  
 (代表 早川昭子) さん  
 寄付金…片岡加津子さん  
 寄付金…深野青年会さん

### ◆南川福祉学園

#### 👉奉仕・交流

名田庄村久坂婦人会のみなさん  
 高浜町ジュニアリーダーズクラブのみなさん  
 つばさの会のみなさん

岡みち代さん (大島保育所)  
 7月31日付  
 嶋田由美子さん (友愛園)  
 9月30日付

#### ♥採用

新しく次の方々が採用されました。よろしく願いいたします。  
 福田佐由理さん (大島福祉学園)  
 7月1日付  
 大上美津子さん (友愛園)  
 8月1日付

西谷征治さん  
 福祉協力校ワークキャンプのみなさん  
 時岡敦子さん (実習)  
 吉村奈美子さん (実習)

#### 👉寄付

ケーキ…西谷征治さん

## 編集後記

「海清」第22号をお届けします。今回、大島福祉学園では、入所者が自立に向けて、住込実習の機会が得られました。

施設生活では、何かを行うことでも、ほとんど職員が決めることが多いようです。どうしても、合理的・集約的運営になり、個人をとらえることに対してまだまだ弱いと思います。家庭ですと、自らがその場面に応じて対応していくといった、自己の実現があり、すなわち個人の裁量があるわけで、私たちも、施設の中で個人の裁量を多く取り入れ実習に生かしたいと思います。(谷口)

澄みきった青空がどこまでも続き、思わず大きく背のびをしたくなる季節になりました。

9月20日に大島福祉学園と保育所合同でサツマイモ掘りをしました。園生の方々と一緒にさつまいもを掘っている子どもたちのうれしそうな顔。すぐく自然なこのふれあいに心暖まり、「素直さ」をいつまでも持ち続けたいと思いました。(松宮)

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

福井県大飯郡大飯町大島45-6  
 大島福祉学園内  
 広報「海清」編集部

☎919-21 ☎0770(7)0185